

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2016」(対象国:ASEAN諸国, 東ティモール, インド)
候補となる実施団体の選定に関する企画競争に準じた手続の実施(採点表)

別添 5

(企画書No.)

採点者: 課 氏名 ()

	審査項目	詳細	とても優れている	概ね良好	問題なし	一部要修正	大幅修正	不可	点数
1	事業の企画妥当性(配点55点)		15点	12点	9点	6点	3点	0点	
	(1) 全体日程案の妥当性	(招へい) - 我が国の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進を図るとともに、両国の繋がりを課題に対する知見を深める内容、訪問先となっているか。 - 様々なテーマ・分野での実施が可能であり、関係者等との交流や意見交換の機会が十分に確保されているか。 - 日本人との交流や日本の正しい姿・魅力を体験し、我が国に対する持続的な関心を増進させるバランスの良い内容となっているか。 - 滞在中又は帰国後、被招へい者による日本の外交姿勢や魅力等についての情報発信を行う機会が十分に確保されているか。 - 資料が英語で的確に作成されているか。 (派遣) - 派遣国にて我が国の貢献及び両国の繋がりにつき、知見を深める内容、訪問先となっているか。 - 我が国に対するイメージ向上、日本への関心を増進させるための情報発信・発表・交流の機会が十分に確保されているか。 - 資料が英語で的確に作成されているか。 - 様々なテーマ・分野での実施が可能であり、関係者等との交流や意見交換の機会が十分に確保されているか。 (フォローアップ) - 参加者へのアンケート調査の実施、参加者の対外発信情報等の収集が円滑に行われるものとなっているか。 - 適切な名簿管理・情報更新、被派遣者へ、大使館などのイベント情報・日本への留学情報等を定期的に配信することが出来るようになっているか。 - 国内外での本事業の反応や報道数などの収集を行えるか。 - 参加者の帰国後の活動のフォロー・同窓会等の支援が出来るようになっているか。							
			10点	8点	6点	4点	2点	0点	
	(2) 全体事業計画の妥当性	- 全体計画は対日理解を促進し、国際社会における対日イメージの向上や日本への持続的な関心の増進に寄与するプログラム内容となっており、ひいては外交基盤の拡充に繋がるものとなっているか。 - 全体事業計画は、年度内に確実に執行できるように組まれているか。 - 本事業の効果を定説的・定量的に測定・検証できる内容となっているか。 - 事前・事後の招へい・派遣対象国へのプレスリリースは、確実に実施出来る計画となっているか。							
	1の合計点数								
2	円滑な運営(配点45点)		10点	8点	6点	4点	2点	0点	
	(1) 組織の運営・実施体制	- 人員を含め事業の実施に必要な体制は確保されているか。 - 年度中、人員が他事業に携わり、連絡や本業務が滞ることがない体制となっているか。 - 外務省、拠出先国際機関、参加者、関係者と円滑に連絡・調整が行える体制となっているか。							
			15点	12点	9点	6点	3点	0点	
	(2) 事業実施の適格性	- 幅広い対象者、混成またはテーマ性のある案件等に柔軟に対応し、総合的に業務を遂行することができるか。 - 専門性、英語力または多言語を含めた企画の履行能力が十分であるか。 - 本事業を正確に理解し、説明書に記載の内容と相違ない企画書を提出しているか。 - 提出資料に不備がないか。 - 過去の類似事業実績は本事業に活用出来るものであるか。							
			10点	8点	6点	4点	2点	0点	
	(3) 事業報告書作成及び作業スケジュールの妥当性・効率性	- 無理のない実現可能な作業スケジュールとなっているか、無理なく効率的に日程が組まれているか。 - 事業報告書の作成は、実施内容及びフォローアップ集計のみでなく、調査・分析がなされ、プログラム改善に役立つ内容となっているか。							
	(4) 危機管理能力	- 不測の事態が発生した際、速やかに的確に対処する体制は確保されているか。 - 事前に、被害を最小限にするための取り組みがなされているか。							
	2の合計点数								
合 計									

☆各評価項目につき該当する評価に✓をつけ、各項目の点数を合計して総計を出すこと。

☆評価は合計6名、各100点満点で行い、合計基準点を400点の60%である240点とする。

合計基準点に達し、且つ、第1位の者と僅差(第1位の得点の5%以内)の者がある場合には、見積額の最も低い者を第1候補として推薦する。